

クリスチャン生活をして勝利者となる秘訣——
キリストを命の木として食べ、享受する道を取る

聖書：創 2:9. 啓 2:7. ヨハネ 6:57, 63.

エレミヤ 15:16. 詩 119:15. エゼキエル 3:1-4

- I. クリスチャン生活をして勝利者となる秘訣は、わたしたちがキリストを命の木として食べ、享受する道を取ることで、神は、わたしたちが彼のために何かをすることを意図していません。神の唯一の願いは、わたしたちにご自身を食物として与え、わたしたちに享受させることです。キリストを命の木として享受する道を取る者たちだけが、彼らの生活と働きが新エルサレムの中にあり続けることを見ます——創 2:9. 啓 2:7。
- II. わたしたちは主イエスをわたしたちの霊の食物として食べて、享受し、彼を命を与える霊として受け入れることができます。それはすべての祈りによって、また彼の言葉を思い巡らす（口ずさむ）ことによって、霊と命である彼の言葉を食べることを通してです——ヨハネ 6:57, 63. エレミヤ 15:16 とフットノート. エペソ 6:17-18. 詩 119:15 とフットノート. マタイ 4:4. 詩 119:103 :
- A. わたしたちは霊と命である彼の言葉を食べることによって主イエスを食べるとき、彼の「ゆえに」生きます（ヨハネ 6:57, 63）。わたしたちはキリストに「よって」生きるのではなく、キリストの「ゆえに」生きます。キリストは、わたしたちの活気づける要素であり、供給する要因です。わたしたちはキリストの復活の中でキリストを生き、キリストを食べることによってキリストを生きます（ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21 前半）。
- B. わたしたちは主イエスの言葉を食べることによって彼を食べるとき、正常で霊的な消化を持つ必要があります——エゼキエル 3:1-4. エレミヤ 15:16. 啓 10:9-10 :
1. わたしたちが良く消化するなら、食物は順調にわたしたちの内側の存在のあらゆる部分に入り込みます。わたしたちは食べることによって消化し、消化することによって吸収し、吸収することによって、キリストの豊富の実際的な養分をわたしたちの存在の中へと取り入れます——エペソ 3:8, 16-17 前半。
 2. 消化不良とは、霊の食物としての主が、わたしたちの内側の各部分の中へと入り込む道がないことを意味します。食物がわたしたちの内側の各部分の中へと自由に入り込む経路がないとき、わたしたちは消化不良になります——ヘブル 3:12, 15. 4:2。
 3. わたしたちは、わたしたちの全存在とわたしたちの内側のすべての部

分を主に開き続ける必要があります。それは、霊の食物がわたしたちの内側を順調に通るためです。わたしたちはこの事を行なうなら、正常に消化し吸収し、キリストを霊的な養分として吸収します。そしてキリストはわたしたちの構成要素となって、神に表現を得させます——エペソ 3:16-17 前半、コロサイ 3:4, 10-11。

Ⅲ. わたしたちが彼を食べることができるのは、御父のみこころを行なって飢え渴いた人を満足させることによってであり、また地上で神・人の生活をして、手順を経た三一の神の栄光のために御父の栄光を現すことによってです——マタイ 24:45-47、ピリピ 1:19-21 前半：

- A. 「わたしには、あなたがたの知らない食物がある。……わたしの食物とは、わたしを遣わされた方のみこころを行ない、彼のみわざを成し遂げることである」——ヨハネ 4:32, 34。
- B. 「わたしは、あなたがわたしに行なわせようとして与えられたわざを成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました」（ヨハネ 17:4）。神の栄光を現すことは、すべての事において神を表現することです（参照、コロサイ 1:9-11）。
- C. 主は彼の人の生活において、バター（最も豊富な恵み）と蜜（最も甘い愛）を食べました。それは彼に、常に御父のみこころを選ぶ力を与えました——イザヤ 7:14-15、アメリカ標準訳聖書 1901 年版。
- D. わたしたちは、「イエスにあるあの実際」にしたがってキリストを学んでいる者たちです。「イエスにあるあの実際」が指しているのは、四福音書に記録されているような主イエスの生活の実際の状態です。彼はこの生活の中で、地上において御父の栄光を現し、信者たちのために模範を設立しました——エペソ 4:20-21：
 - 1. イエスは生活において、神の中で、神と共に、神のためにあらゆる事を行なって神の栄光を現しました。神はイエスの生活の中におられ、イエスは神と一でした。彼は復活において命を与える霊と成りました。それによって彼はわたしたちの中へと入って、わたしたちの命となりました。わたしたちが彼の模範にしたがって彼から学ぶのは（マタイ 11:29）、わたしたちの天然の命によってではなく、復活におけるわたしたちの命としての彼によってです（コロサイ 3:4、I ペテロ 2:21）。
 - 2. 主イエスはご自身から決して何も行ないませんでした（ヨハネ 5:19）。彼はご自身の働きを行なわず（4:34、17:4）、ご自身の言葉を語らず（14:10, 24）、ご自身の意志を行なわず（5:30）、ご自身の栄光を求めませんでした（7:18）。
 - 3. キリストを学ぶとは、キリストの模範の中へと鑄込まれること、すなわち、キリストのかたちに同形化されることです。彼ご自身は、内住す

る霊、すなわち、命の霊の法則として、彼の命の豊富すべてをもって、わたしたちの中でご自身を複製します——ローマ 8:2, 28-29。

E. イザヤ書第 43 章 7 節は言います、「わたしの名で呼ばれるすべての者を、わたしの栄光のために、わたしが創造し、形づくり、さらには造った」。神に対するわたしたちの最高の奉仕は、彼の栄光を表現することです——Ⅱコリント 3:18. ローマ 9:23。

F. I コリント第 6 章 20 節は言います、「あなたがたは代価をもって買取られたからです。ですから、あなたがたの体において、神の栄光を現しなさい」。これはわたしたちの中に住まわれる神に (I ヨハネ 4:13)、わたしたちの体を占有し、浸透していただき、彼の宮であるわたしたちの体を通して (I コリント 6:19)、ご自身を表現していただくことです。I コリント第 10 章 31 節は言います、「あなたがたは食べるにも飲むにも、また何をするにも、すべて神への栄光のために行ないなさい」。

IV. わたしたちが彼を食べることができるのは、正しい人と接触することによってです——レビ 11:1-3, 9, 13, 21 :

A. 食べることは、わたしたちの外側の物と接触し、それらをわたしたちの中へと受け入れて、その結果、それらが最終的にわたしたちの内なる構成となることです。レビ記第 11 章で、すべての動物は異なる種類の人を表徴し、食べることはわたしたちが人と接触することを表徴します (使徒 10:9 後半-14, 27-29)。神の民は、聖なる神が要求する聖なる生活をするために、自分がどういう種類の人と接触するかについて注意深くなければなりません (レビ 11:46-47. I コリント 15:33. II コリント 6:14-18. II テモテ 2:22)。

B. ひづめが分かれていて反芻する動物 (レビ 11:3. 参照、4-8, 26-28 節) が表徴するのは、行動において識別力があり (ピリピ 1:9-10)、多くの再考をもって神の言葉を受け取る人たちです (詩 119:15)。

C. ひれとうろこを持つ水生動物が表徴するのは、この世で自由に行動し、活動して、同時にその影響に対抗することができる人たちです (ひれは魚が水中で随意に行動し、活動するのを助けます。うろこは魚を保護し、海中で生きている魚が塩に浸されることから守ります) ——レビ 11:9。

D. 飛ぶための翼を持ち、命の種を食物の供給として食べる鳥が表徴するのは、この世から離れてこの世を超越した命の中で生き行動することができ、命のものを命の供給とする人たちです——レビ 11:13。

E. 羽があって、足の上にももを持ち、地を跳びはねる昆虫が表徴するのは、この世を超越する命の中で生き行動することができ、自分自身をこの世から守ることができる人たちです——レビ 11:21-22。

V. わたしたちが彼を食べることができるのは、一の唯一の立場の上で集会す

ることにおいて、彼を祭りとして享受することによってです：

- A. イスラエルの子たちは二つの方法で良き地の産物を享受することができました。一般的で、個人的な方法は、いつでも、どこでも、だれとでも、一般的な分け前として享受することでした（申 12:15）。特別な、団体的な方法は、すべてのイスラエル人と共に、定められた祭りにおいて、神によって選ばれた唯一の場所で、最高の分け前、すなわち、初穂、初子を享受することでした（5-7, 17-18 節）。
 - B. 同じように、新約の信者たちがキリストを享受することにも、二つの面があります。一般的で、個人的な面では、いつでもどこでもキリストを享受します。特別な、団体的な面では、一の唯一の立場、神に選ばれた場所で、正しい召会生活の集会において、キリストの最高の分け前を享受します。
- VI. 人に対する神の意図は、ご自身を命の木として人に与えて、人に享受させることでした。神がわたしたちに彼を享受してもらいたいことと、神がわたしたちに彼のために何も行なってもらいたくないことを見ることは、クリスチャン生活がキリストを命の木として享受する事柄であることを見ることです。もしわたしたちの観念が変えられて、これら二つの要点を見るなら、わたしたちが神を享受する生活をするのは容易でしょう。